

「湖北野鳥センター」は琵琶湖岸の水鳥の生態を学び、人々に野鳥に関心を持ってもらい、水鳥を保護するために1988年に開設されました。「琵琶湖水鳥・湿地センター」は1993年に琵琶湖がラムサール条約・登録湿地となったことから、水鳥の保護と湿地の保全推進を目的として1997年に開設された、全国3番目の施設です。



- 所在地 長浜市湖北町今西
TEL 0749-79-1289
FAX 0749-79-8022
E-mail nio@mx.biwa.ne.jp
ホームページ <http://www.biwa.ne.jp/~nio/>
- 利用時間 9:00～16:30
- 定休日 火曜日(祝日の場合は翌日)
- 料金(2センター共通)
大人(高校生以上) 200円
小・中学生 100円
★大人・小人に関わらず20名以上で団体割引あります。
- 個人・団体対応
個人で利用できます。団体の場合は60名まで利用できます。

●アクセス

<公共交通機関>

JR 北陸本線「河毛駅」下車、湖北町コミュニティバス「湖北野鳥センター」下車すぐ

<自動車>

北陸自動車道「長浜IC」、または「木之本IC」より琵琶湖岸道路を通り約20分

<駐車場無料>

●[湖北野鳥センター、琵琶湖・水鳥湿地センターの地図はこちら](#)

(外部のホームページへリンクします)



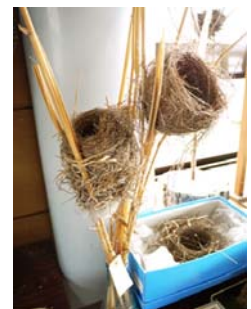
施設概要

●湖北野鳥センター

- ・観察室
20台のフィールドスコープで湖岸の水鳥を観察できます。
- ・展示コーナー
コハクチョウやオオヒシクイをはじめとする80点以上もの鳥のはく製や、各種鳥の巣、琵琶湖に生息する魚などが展示されています。
- ・図書閲覧コーナーなど
- ★水鳥・湿地センターとは渡り廊下でつながっています。



多種の鳥のはく製



オオヨシキリの巣

●琵琶湖水鳥・湿地センター

- ・ライブ映像
3階のカメラが湖岸の様子を撮影したライブ映像を、最大66倍の画面で放映されています。
- ・展示スペース
琵琶湖とラムサール条約、琵琶湖の漁法、水鳥や渡り鳥について紹介されています。
- ・レクチャールーム
- ・研究室など



団体向け活動プログラム

★無料、要予約

●野鳥観察



★ 希望により、観察後にフィールドノートでのまとめ学習もあります。

●鳥、琵琶湖、自然についての講座

★ いずれも、団体の構成や時期、要望によって内容は柔軟に対応していただけます。

●湖岸のライブ映像の観賞と解説

間近で見えるような大迫力！



★団体の活動事例

- ①鳥や琵琶湖、自然についての講座
- ↓
- ②ライブ映像の観賞と解説（何分でも対応）
- ↓
- ③野鳥観察

イベント

★無料、要予約

●定例観察会(月1回)

野鳥についてだけでなく、自然全般についてのテーマも実施されています。

(例)

- ・ホテル観察会
- ・タカの渡り観察
- ・伊吹山お花畑観察会
- ・オオワシ観察



あのさかなは何か？

魚つかみ観察会

●「めざせ！湖北マイスター」制度

年度末に講座生を募集し、年間を通じて数回にわたり、講座が実施されます。毎回、専門講師を招いて湖北の自然を多方面から考察します。

(例)

- ・水草植物
- ・水生動物
- ・琵琶湖の源流探索
- ・琵琶湖の問題の探索

●鳥のおはなし会(月1回)

子どもを対象とし、「鳥」についての絵本の読み聞かせや紙芝居、簡単な工作などが実施されます。

★イベントの内容、定員、料金等、詳細はお問い合わせください。

出前講座

野鳥、湖北地域や琵琶湖の自然について、状況に応じて講座していただけます。



取材者 佐藤のおすすめ！

最大 66 倍のカメラでとらえた湖岸のライブ映像は圧巻！またその映像を見ながら、スタッフが利用者に合わせ楽しく解説して下さるので、親しみながら鳥や自然について学習できます。

水鳥についての調査研究施設ですが、センター周辺の湖岸で生態観察したいなど、利用団体の要望に応じてスタッフが柔軟に対応して下さいます。

施設スタッフ「U」のひと言

「野鳥センター」のイメージとして冬がシーズンと考えられがちですが、実際には春から秋の繁殖期が、生態系全体を観察するのに適しています。ぜひ、多様な生物が観察できる時期に来てください。

また鳥だけを学ぶ施設でなく、鳥を通じて自然全般について学べる施設です。ご希望に応じたプログラムを用意できますので、まずはご相談ください。